日吉台新聞

HIYOSHIDA

発　行

日吉台学区自治連合会

日吉台学区まちづくり協議会

発行責任者
林　堅太郎

編集責任者
村澤　真保呂

まちづくりに弾み

敷地内に入って家屋を点検する見守り隊

ずっと・もっと　日吉台

民間のまちづくり財団

空き家対策に助成金

活動を評価、認められ

財団法人「ハウジングアンドコミュニティ財団」が行う活動助成事業に、日吉台学区空き家対策検討委員会が応募していた住まいの活動助成が認められ、３月末、同財団から決定通知があった。学区自治連合会は、増え続ける学区の空き家問題に対処するため平成28年に空き家対策検討委を設置、まちづくりの一環としてとらえた空き家対策に乗り出しており、対策委のメンバーらは、この助成は活動に大きな弾みがつくと、喜んでいる。

ハウジングアンドコミュニティ財団は、豊かな住環境の創造に貢献することを目的に平成４年７月、株式会社「長谷工コーポレーション」が創立55周年記念事業として一過性に終わらない継続性のある社会貢献活動を行いたいとして設立した。

助成の対象となる団体は、営利を目的としない民間団体で、代表責任者が明確で意思決定の仕組みが確立され予算、決算処理が適切に行われていることが条件。人口減少社会、少子高齢化社会を背景とした住まいとコミュニティに関する課題に取り組む市民の自発的活動や住まいづくり活動に助成される。

大津市は、日吉台学区を空き家対策のモデル地域に指定、市独自の空き家対策を検討しているが、市の空き家対策を指導、助言をしてきた民間のコンサルタント「都市環境研究所三重事務所」からこの制度の存在がもたらされた。対策委としては、日吉台学区が行う空き家対策事業がこの制度の助成制度の条件に合致するとして、昨年秋、応募することを決め、同対策委の濱崎博・事務局長が中心になって応募書面などの作成など準備を進めてきた。

決定した助成は、30年度一度限りで助成額は105万円。学区では、検討してきた空き家対策については、調査、検討を行う特別委員会の空き家対策検討委を事業実施を行う専門部会の空き家対策委員会へ組織を改編、専門部会としての空き家対策委に学区事業予算５万円を計上しており、この予算あわせ計110万円で事業展開をすることにしている。

助成後の活動については、正式に発足した専門部会で協議、決定するが計画案によると、①実施中の空き家敷地内外観観察（無償）②有償による空き家の軽微な維持管理支援活動③空き家の拠点活動への展開－の３段階の見守りプランを団塊世代の専門家集団の知恵を結集して構築する。また、空き家の増加をまちの問題や課題としてではなく資産として前向きにとらえ、所有者との信頼関係を構築することを通じ日吉台学区住宅地の再生の思いをひとつに空き家対策を進めることにしている。

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

まちづくり協議会全体会議

5月20日、市民センターで

日吉台学区まちづくり協議会は、５月20日午後２時、日吉台市民センターで30年度全体会議を開催する。新聞事業やマルシェ事業をはじめ、これまで発足した事業の成果を報告するとともに、今年度の課題と今後の方針について協議する予定。

同協議会は、25年度にスタート。協議会事務局では発足以来、日吉台のまちづくり活動方針にくわえ、空き家問題や少子高齢化問題など学区が抱える課題を検討、解決策の方向性を探る活動を展開してきた。今回は、これまで活動してきた「日吉台新聞事業部」「子育て応援隊事業部」や「空き家対策事業部」手づくり市や農産物販売などを定期的に行なう「日吉台マルシェ事業部」などに幅広い層の住民に参加を呼びかけ、協議会の活動の輪を大きく広げさらなる事業展開をはかることにしている。

36支所は継続させる

市言明・代案決定まで

市自治連合会（会長・谷正男坂本学区自治連合会長）は、３月28日開いた市自治連合会理事会、定例会で、大津市が進めている支所統合問題について、「市は、よりよい市民センター機能あり方案決定まで（36支所は）継続させるとしている」と述べ、次の代案決定まで支所統廃合は行わないという市の方針案を明らかにした。

支所統合案は、現在市内36所を32年度中に10支所に統合集約化、再編するもの。これによると日吉台支所は、坂本支所へ統合されることになっていた。

昨年11月に市は支所の再編、集約化の素案を発表したところ、36学区のうち、統合される支所を持つ学区を中心に反対運動がおき、市自治連合会役員らが越市長らはじめ市側と折衝を重ね、次の代案決定まで36支所すべて残すという言質を取り付けた。

市は今後、新たな方針のもと支所の再編案を検討するなか職員配置、支所機能に代わる対案など検討するが、当初示した素案の変更もありうるとし、代替案についても市自治連と協議する方針を明らかにした。

平成３０年度日吉台学区自治連合会役員

日吉台学区　自治連合会役員

役職名		氏名	自治会		担当
会長		野々口　義信	４東	自治連担当役員	文化祭
副会長		猪脇　裕子	４西	自治連担当役員	学区運動会
		安達　喜美代	３西	自治連担当役員	夏まつり
		関根　啓子	１北	自治連担当役員	福祉まつり
事務局長		丸山　郁夫	２北	自治連担当役員	
会計		滝口　友輝	１南	自治連担当役員	
理事	事務局次長	山崎　勲	２南	自治連担当役員	
		西　治彦	１北	役員会推薦	
	環境衛生委員	武政　恵美	３東	自治連担当役員	
	書記・広報	北海　彰	１南	自治会長	
		今江　亮	１北	自治会長	
		高田　陽朗	２南	自治会長	
		鎌田　ユリ	３東	自治会長	
		新木　紀男	３西	自治会長	
		市川　泰伸	４東	自治会長	
監事		伏木　秀文	２北	自治会長	
		西村　精一	４西	自治会長	

コミュニティ基金管理委員会

役職名	氏名	自治会	備考
委員長	近原　秀明	２南	自治連合会役員会推薦

30年度学区自治連総会開催

地域功労で５氏を表彰

平成30年度日吉台学区自治連合会通常総会が４月15日、日吉台市民センター大会議室で開かれた。総会には、約１００人の学区住民が出席、29年度自治連合会活動報告、収支決算報告、30年度学区自治連役員選任案、30年度活動計画案など６議案と個人情報保護法改正に伴い、学区内における個人情報の取り扱いを定めた学区個人情報保護方針（プライバシーポリシー）を定め盛り込んだ学区自治連合会会則一部改正案を議決、承認した。

選任された30年度学区自治連合会役員は別表のとおりで、野々口義信会長は留任し「学区を取り巻く環境は、自治連合会運営面でも厳しくなっている。情報公開に努め、住民のみなさんの声をつぶさに聞き、この難しい時期の学区自治連の運営にあたりたい」と決意を述べた。

総会の席上、学区内で地域活動に功績のあった５氏の功労表彰が行われ、総会出席者の前で野々口会長から表彰状が贈られた。地域功労者は、次のみなさん。

早川保夫▽菊岡隆▽日野倫将▽藤田保雄▽紺谷健治　（敬称略）

総会に出席し表彰を受けた地域功労者のみなさん。右から２人目は学区自治連合会会長

坂本幼稚園で合同入園式　日吉台小では入学式

日吉台幼稚園児

大津市坂本の市立坂本、日吉台幼稚園（城宣子園長）の入園式が４月10日、同幼稚園遊戯室で行われた。市の認定こども園開設計画で、日吉台幼稚園の幼児教育は30年度から坂本幼稚園と合同保育となったため日吉台幼稚園での入園式はなくなり、日吉台学区の３歳児新入園児２人は坂本幼稚園での入園式となった。

入園式は、坂本、日吉台幼稚園児が合同で坂本、日吉台幼稚園園歌をいっしょに元気よく歌って始まり、城園長から名前を呼ばれた新入園児らは、大きな声で「はい」と返事。式が終わりになるころ行われた先生らが新しい園のマスコットキャラクターを使った劇では、緊張していた顔が一気に緩み、新入園児らは笑顔がいっぱい。新しく始まる幼稚園生活を楽しみにしている様子だった＝写真。

日吉台小学校（熊川芳彦校長）の入学式が、４月９日行われ、ぴかぴかのランドセルを背負った新１年生14人は、お父さんやお母さんに連れられ希望に胸をふくらませ登校。元気に校門をくぐった。

新一年生たちは「一年生になったら」の歌にあわせて式が行われる体育館へ入場。会場で新一年生の名前を呼ばれると元気よく「はい」と答えていた。

入学式で体育館に並ぶ日吉台小の新一年生

着任しました

日吉台小校長
熊川　芳彦

今から30年ほど前、５年間日吉中学校に勤務していたことがありました。久しぶりにこの地域に来て、とても懐かしく感じました。地域と家庭、学校が連携し、子どもたちの豊かな学びと健やかな成長につなげていく学校づくりに取り組みたいと考えています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

日吉台支所長
安孫子昌治

４月１日付けで日吉台支所長を命ぜられ着任いたしました。初めての支所で、日々新しい経験となり、何かと至らないところもあろうかと思いますが、迅速に対応でき気楽に立ち寄れる支所、皆さんのふれあいの場として活気あふれる公民館を目指し、所員とともに精一杯努めてまいりますので、皆さま方のご協力とご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

日吉台支所
生涯学習専門員
藤原　照久

30年度採用で着任し、公民館での仕事は初めてでございます。着任してまだ日が浅いですが、日吉台公民館をご利用の方々の生涯学習力の高さに驚いております。不慣れでご迷惑をおかけしますが、一人でも多くの方が生涯学習に参加いただきますよう、地域の皆さまとともに学んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

日吉台支所
三浦　靖子

４月１日付け人事異動により、唐崎支所から異動してまいりました。日吉台支所には平成23年に配属され、１年間地域の皆さま方には大変お世話になりました。二度目の職場として勤務させていただくことになり、うれしく思っております。地域の皆さま方との関わりを大切にし、これまでの経験を生かして少しでも地域の皆さまのお役に立てるようがんばりたいと思いますので、皆さま方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

紙面をカラー化

日吉台新聞は平成30年５月号からカラー紙面化しました。これは本年度、まちづくりと捉えた学区の空き家対策事業が、民間のまちづくり支援団体「ハウジングアンドコミュニティ財団」から住まいとコミュニティづくり助成金として認められ、この助成金の一部を紙面のカラー化費用に充てることにしました。今後、日吉台新聞の紙面を活用、空き家対策など学区のまちづくり活動を内外に情報発信し、学区のまちづくりの起爆剤となるよう努めたい、と考えています。

日吉台新聞編集部

江若バスに乗ろう標語

優秀作品で児童ら表彰

日吉台小学校の子どもたちから今年も募集していた「江若バス利用促進キャンペーン標語」の入賞作品が決まり、３月23日同小体育館で行われた修了式で入賞者の表彰式が行われた。

学区自治連と日吉台まちづくり協議会は、昨年に引き続き、日吉台小の子どもたちから「江若バス利用促進キャンペーン」の標語を募集、優秀作品10点を選定した。

今後は優秀作品をのぼりや啓発ポスターなどに利用、バスに乗ろう運動に役立てる。表彰式では、優秀作の子どもたちに野々口学区自治連会長から賞状が授与された。

名前	学年	作品	備考
眞鍋 晴菜	6	親と子の　会話が弾む　江若バス	自治連会長賞
篠原 柑	2	バスにのり　ぐるりと回ろう　日吉台	まち協会長賞
前川 嶺	3	発車オーライ　江若バス　ぼくの夢と希望をのせて	校長賞
牧 空花	1	バスにのり　じいじといっしょに　おかいもの	江若交通賞
中坂 美悠	1	かぞくでバスにのって、おでかけたのしいよ	佳作
石岡 なつめ	3	あんしんだ　ゆきの日雨の日　バスでおでかけ	佳作
柳田 大輝	3	このまちに　ずっと走らせたいな　江若バス	佳作
岡田 創	4	江若バス　仕事の人が　便利だよ	佳作
喜多 心菜	4	乗ってると　笑顔いっぱい　江若バス	佳作
大西 由花	6	バスに乗り　人とのきずなを　深めよう	佳作

修了式で表彰された日吉台小の子どもたち。学年表示は、作品募集当時